

## 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会中間報告書

令和3年1月28日中間報告以来、現在までの経過及び結果を次のとおり報告する。

令和3年5月13日

伊東市議会議長 佐山 正 様

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

委員長 井戸 清 司

### ○経過及び結果

#### 1 令和3年5月13日 委員会

去る2月1日に議会から当局に対し提出をした本委員会作成の提言書に関し、その後の当局の対応状況等について報告を求め、これに対する質疑応答を行った。

委員から、市の行う新型コロナウイルスワクチンの集団接種における現在の予約状況を問う質疑があり、5月10日から予約を受け付け、予定した予約人数の受付が終了した12日時点で7,782人の予約の受付をしたことが確認された。また、接種会場までの交通手段が見いだせない人への対応について質疑があり、接種会場を月曜日と火曜日は八幡野コミュニティセンター、水曜日から土曜日は健康福祉センター、日曜日は宇佐美コミュニティセンター、生涯学習センター荻会館と市内複数箇所用意することにより、接種希望者が居住している地域で接種できる機会が設けられていることが確認された。また、当日の接種キャンセルに対する質疑があり、体調不良等で接種ができず、会場でワクチンが余ってしまった場合に連絡をするリストを作成し、ワクチンを無駄にすることのないような体制を整えていることが確認された。さらに、ワクチン接種をした際に副反応等があった場合について質疑があり、接種後の経過観察は通常15分、過去にアレルギー反応や医師の判断で長めの経過観察が必要な場合は30分間であり、看護師や保健師が経過観察のため常駐しており、仮に体調不良となった場合でも、会場から救急通報すると同時に市民病院にも連絡し、救急車到着後、速やかに市民病院へ搬送できるよう消防署と市民病院と連携して緊急対応の体制も整えられていることが確認さ

れた。

次に、個別接種の体制について問う質疑があり、27の医療機関で接種が可能となり、6月1日から順次開始し、1日当たり約430人、8月までに約1万人が接種可能となることから、集団接種と個別接種で8月までに約1万7,000人が接種可能となることが確認された。また、市から各医療機関へのワクチンの供給体制については、ビッグフリーザーから取り出した場合は、5日以内に接種をしなければならないため、週に2回、各医療機関からワクチンの必要量を連絡してもらい、火曜日と金曜日に市から医療機関へワクチンが提供されることが確認された。

次に、教育現場で学校と保護者間の連絡体制におけるアプリの活用について質疑があり、今後、ICT教育部会を教育委員会主催で開催し、アプリの活用状況等を確認し、各学校間で情報を共有することが確認され、また、5月15日までに全児童・生徒に配付された端末機器が全校で稼働できるような状況になることが確認された。

その他、繁華街の飲食店等における訪問点検の実施状況、業種ごとの感染拡大予防ガイドラインの周知、観光振興・イベント開催の判断基準等について確認された。

以上が、当局からの報告事項及び質疑応答の概要である。

次に、その他の協議事項として、今後の委員会の開催については、特別委員会が設置されている状態を維持し、ワクチン接種の進捗や感染拡大の状況を踏まえ、必要が生じた際にはすぐに招集できる状態としておくこととして、異議なく了承された。

以 上